

2025 年度日本海洋学会会員集会 議事録

日時: 2025 年 5 月 28 日 (水) 12:30~13:30

場所: 幕張メッセ国際会議場 105 号室 および Zoom を利用したハイブリッド開催

出席者: 現地参加 22 名+事務局 1 名、オンライン 12 名

1. 会長挨拶 (江淵会長)

江淵会長より挨拶があった。令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を青木茂会員、阿部彩子会員、高垣直尚会員、若手科学者賞に中山佳洋会員が、それぞれ受賞された旨、JpGU フェローに日比谷紀之会員と川端穂高会員が選出された旨、JpGU 西田賞を土井威志会員が受賞された旨、報告があった。今井一郎会員(北海道大学名誉教授・プランクトン学会元会長)の逝去が報告された。引き続き、会員交流の場を提供していきたいとの意向が、表明された。

2. 報告事項

1) 2025 年度の事業報告について (渡部理事)

2025 年度の事業報告について報告された。

2) 2025 年度の決算報告および監査報告について (伊藤(幸)理事、神田監事)

2025 年度の決算報告および監査報告について報告された。

3) 理事・監事の選任について (江淵会長)

2025-2026 年度の役員人事が評議員会・臨時理事会で承認された旨、報告された。

4) 2026 年度の研究大会について (安中理事)

2026 年度の研究大会(春季・秋季)開催が決定された旨、報告された。

5) 日本学術会議「未来の学術振興構想」の改訂に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募への対応について (江淵会長)

「未来の学術振興構想 2023」に掲載された「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」を、「ロードマップ 2023」に採択された「統合全球海洋観測システム OneArgo の構築と海洋融合研究の推進」を考慮の上改訂し、再掲載を目指すこと旨、報告された。

6) 会務報告

庶務 2025年度事業計画について (渡部理事)

2025年度事業計画、会員数の動向について報告された。(学生会員の増加によりやや下げ止まり傾向があるものの、その他の会員の減少は続いており会費収入は減)

庶務 受賞記念講演の座長について (渡部理事)

2025年度授賞式における受賞記念講演の座長について報告された。

会計 2025年度予算案について (伊藤(幸)理事)

2025年度予算案（一般会計、基金会計、特別会計）について報告された。
編集・研究発表・賞選考・選挙管理・各委員会・支部・各研究会・学会関連
2024年度の活動実績や2025年度の活動計画が、書面にて報告された。

6) 意見交換

予算案の事前共有（江淵会長）

- 現在のスケジュールでは難しく、対面での会員集会の対面での開催を優先させるため、現状維持とさせてもらいたい（江淵会長）

JO掲載料の未払い（川合(義)会員）

- 出版社とは別システムであるため、掲載料の未払いを理由に掲載を取りやめることは難しい。事務局からだけでなく、編集委員長名での個別連絡を強化する。（江淵会長）

会員動向の年齢分布（河宮会員）

- 退職に伴う退会が増えているように感じる。今後調査する。（江淵会長）

JOの投稿状況（今協会員）

- 特集号のお陰で掲載数が維持できているものの、投稿数は減っている。（江淵会長）

8) その他

秋季大会委員長挨拶（笠井会員）

海洋環境問題研究会・沿関連シンポジウムのお知らせ（福田会員）

海の相談窓口の相談員募集（渡部理事）

キャリア選択に関するアンケートへの協力依頼（長谷川理事）

以上